



奈良県南部『復興元年企画』のイベント開催 ～第一弾「元気です！川上村」～

奈良県中南和地域の観光情報発信拠点である橿原市観光交流センター「愛称：かしはらナビプラザ」*のイベントスペースで、平成24年4月11日（水）から23日（月）までの間、昨秋の台風被害の復興を支援するPR展「元気です！川上村」が開かれた。

台風12号による紀伊半島豪雨は、県南部に甚大な被害をもたらしたが、現在は道路を始めライフラインの復旧が進んでいる。あわせて、観光客を呼び戻そうと、各地で復興イベントが開催されているが、依然として観光客の低迷にあえぐ地域は多い。

こうした状況を踏まえ、橿原市と同市観光協会は、復興に取り組む県南部を応援しようと「紀伊半島復興元年企画」を立ち上げた。その第一弾として川上村を紹介。今後、上北山村、五條市（下記参照）と続く。

川上村のPR展では、同村木工センターが吉野杉で加工した置時計や角トレーのほか、地元で観察できる珍しい昆虫の写真パネルなどを展示。会場中央には、チェーンソーだけを使って彫刻された、豪快でありながら繊細な表現のチェーンソーアート作品「ふくろう」が展示され、同村の名所や食べ物をクイズ形式で紹介するビデオ上映も行われた。

休日には、「森と水の源流館」の職員と一緒に工作体験を楽しむ『もっくんと、おし葉のしおりづくり』や、日本画・彫刻・陶芸などの多彩なアーティストたちがアトリエに暮らし創作活動を行っ

ている芸術家村「^{たくみむら}匠の聚」のアートフェスタ企画『ガラスのアクセサリーづくり』などの体験イベントが開催され、親子連れでにぎわった。

豊かな自然環境に恵まれた県南部地域は、奥深い歴史を感じさせる史跡も数多く点在し観光名所が多い。県でも、県南部への観光客を呼び戻そうと昨年度に引き続き、今年4月から「奈良県南部地域復興支援プレミアム宿泊旅行券」を発行。（販売状況は県HPにて確認要。また、かしはらナビプラザ1階物産コーナーでも販売中。）売れ行きも好調で、南部地域の復興に大きく貢献している。かつての賑わいを一日も早く取り戻し、元気な地域になることが期待される。（岡本 忠）



吉野杉で加工した置時計や角トレーなど



チェーンソーアート作品「ふくろう」が展示された会場内

* 近鉄大和八木駅前にある「かしはらナビプラザ」は、1、2階は中南和地域の観光情報を提供し、特産品販売コーナーもある観光センター、3～5階は市民活動や子育て支援などの機能のある交流センターである。今年4月に一周年を迎えた。

今後の「復興元年企画」開催予定

お問い合わせ：社団法人 橿原市観光協会 (0744-20-1123)

【開催時間等】午前9時～午後7時（イベント期間中無休）・入場無料 【開催場所】かしはらナビプラザ2階イベントスペース
※ イベントの展示物・内容等については、予告無く変更される場合があります。

イベント	期間	内容
『日本百名山「大台ヶ原」の郷・上北山村』／上北山村	5月29日（火）～6月11日（月）	「和佐又野外フェスティバル（7/28）」、「夏祭り（8/25）」、「ヒルクライム大台ヶ原（9/9）」等を紹介するほか、日本百名山に選ばれている「大台ヶ原」や大台大峯の山々の写真や昆虫標本、野生動物の剥製などを展示。 また休日（6/2・3・9・10）には、上北山村で製材した「割り箸」を各日先着100名様にプレゼント。
『歴史のまち』～五條満喫／五條市	6月20日（水）～6月25日（月）	記紀万葉の伝承をはじめ江戸時代からの建物が多く残る「新町通り」や、明治維新の魁となった天誅組の史跡等、歴史資産に恵まれた市の風景写真の展示や、俳人藤岡玉骨の生家「藤岡家住宅」の所蔵品等を紹介。 6/23（土）には、七夕などロマンチックな星空伝説のお話を実施。